

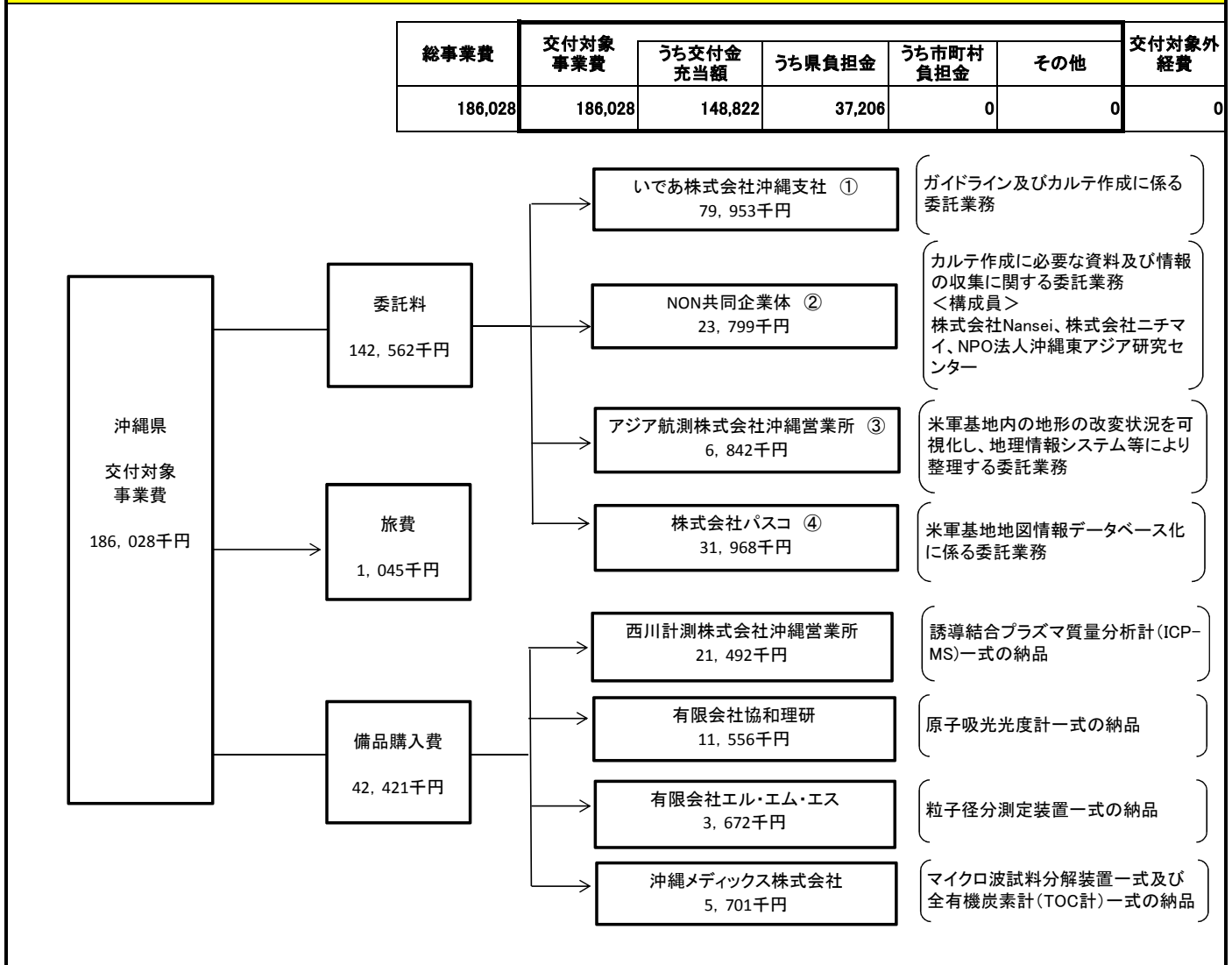
平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

|  |   |   |               |              |                          |                                  |         |
|--|---|---|---------------|--------------|--------------------------|----------------------------------|---------|
| 事業番号・事業名   | 24 米軍施設環境対策事業   | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所  | 第3章-2-(5)-ア   |              |                          |                                  |         |
| 担当部課名  | 環境部 環境政策課   | 事業実施(予定)年度  | 平成 26 ~ 28 年度 | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 米軍基地から派生する諸問題への対応<br>Ⅲ-8 |                                  |         |
| 事業内容   | 返還予定地及び既返還地における環境問題への対応や、米軍の活動に起因する環境問題を解決するため、米軍施設に関する環境対策方針等を整備しながら、国と連携した新たな環境保全のしくみづくりを推進する。  |   |               |              |                          |                                  |         |
| 実施方法   | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )  |   |               |              |                          |                                  |         |
| 予算額・執行額<br>【単位:千円】                               |   | 26年度  | 26年度(繰越)      | 27年度         | 27年度(繰越)                 | 28年度                             |         |
|  | 予算の状況   | (a) 当初予算額   | 30,607        | —            | 37,983                   | 0                                | 158,696 |
|  |   | (b) 予算現額  | 30,607        | —            | 37,983                   | 0                                | 202,981 |
|  |   | (c) 増減額 (b-a)   | 0             | —            | 0                        | 0                                | 44,285  |
|  |   | (d) 前年度繰越額  | —             | —            | —                        | —                                | —       |
|  |   | A. 計 (b+d)  | 30,607        | —            | 37,983                   | 0                                | 202,981 |
|  |   | B. 執行済額   | 29,500        | —            | 37,552                   | 0                                | 186,028 |
|  |   | うち交付金充当額  | 23,600        | —            | 30,041                   | 0                                | 148,822 |
|  |   | C. 次年度繰越額   | 0             | —            | 0                        | 0                                | 0       |
|  |   | 執行率 (%) (B/A)   | 96.4%         | —            | 98.9%                    | —                                | 91.6%   |
|  | 予算の状況の説明  | 平成27年度に比べ当初予算額が120,713千円増額となっているのは、検討委員会の開催回数の増加と、新たな専門部会を3つ立ち上げたことによる。<br>予算現額の増は、補正予算で備品購入費を新たに追加したことによる。<br>執行率は91.6%であり、主に備品購入費の入札執行残により不用額が生じたものである。   |               |              |                          |                                  |         |
| 活動目標(指標)及び達成状況                                   | H28活動目標(指標)   |   | 達成状況          |              |                          |                                  |         |
|  |   |   | 25年度          | 26年度         | 27年度                     | 28年度                             |         |
|  | 在沖米軍基地に関する情報の収集や資料の収集   | 目標  |               |              |                          | 国外における米軍基地に関する情報や資料を収集する。        |         |
|  |   | 実績  |               |              |                          | 国外における米軍基地に関する情報や資料を収集した。        |         |
|  | ガイドライン及びカルテ作成に当たっての検討委員会の実施 4回  | 目標  |               |              |                          | ガイドライン及びカルテ作成にあたっての検討委員会を4回開催する。 |         |
|  |   | 実績  |               |              |                          | ガイドライン及びカルテ作成にあたっての検討委員会を5回開催した。 |         |
| 基地周辺の平常時における環境状況を把握し基地環境カルテに反映させることを目的とした分析機器の整備 | 目標  |   |               |              | 分析機器を整備する。               |                                  |         |
|  | 実績  |   |               |              | 分析機器を5式整備した。             |                                  |         |
| 達成状況説明   | ・アメリカ国立公文書館から、カルテの作成に必要な在沖米軍基地に関する情報を入手できた。<br>・ガイドライン及びカルテ作成のために有識者からなる検討委員会を5回開催した。<br>・地下水・土壌汚染、リスク評価、自然環境、住民参画・情報公開の4つの専門部会を設置し、ガイドラインにおける各分野の議論を深め、ガイドラインに反映させることができた。<br>開催回数: 地下水・土壌汚染専門部会9回、リスク評価専門部会9回、自然環境専門部会6回、住民参画・情報公開専門部会6回<br>・地下水の流向等を示す地下水マップ、現存植生、米軍基地内の地形変化状況をGISとしてまとめることができた。 |   |               |              |                          |                                  |         |
| 成果目標(指標)及び進捗状況                                   | H28成果目標(指標)   |   | 基準値           | 26年度         | 27年度                     | 28年度                             | 目標値     |
|  | 環境調査ガイドライン及び基地環境カルテの作成  | 目標  |               |              | ガイドライン素案及びカルテの素案を作成する。   | ガイドライン及びカルテを作成する。                |         |
|  |   | 実績  |               |              | ガイドライン素案及びカルテの素案を作成した。   | ガイドライン及びカルテを作成した。                |         |
|  | 返還予定基地周辺における地下水調査を行う体制の構築   | 目標  |               |              |                          | 地下水マップを作成し、分析機器を整備する。            |         |
|  |   | 実績  |               |              |                          | 地下水マップを作成し、分析機器を5式整備した。          |         |
|  | 進捗状況説明  | ・成果目標は以下の実績から達成とする。<br>・平成26~28年度に収集した情報、資料をもとに、検討委員会及び専門部会を開催し有識者から指導、助言を受けて、ガイドライン及びカルテを作成した。<br>・地下水の流向等を示す地下水マップ、現存植生、米軍基地内の地形変化状況をGISとしてまとめることができた。<br>・地下水マップを作成し、分析機器5式を整備することで、返還予定地周辺における地下水調査を行う体制を構築した。<br>【参考】平成26年度成果目標、成果実績<br>成果指標: 米軍施設における環境情報の基礎構築 成果目標: 基礎構築を図る 成果実績: 基礎構築を行った |               |              |                          |                                  |         |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)  | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)   |
|-------|--|--|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインの作成には、汚染のリスク評価、自然環境の調査・評価、リスクコミュニケーションといった、高度に専門的な分野の知識が要求された。</li> <li>・また、その作成にあたっては、基地に関する国家間の取り決めなどを把握した上で、その方法論を検討する必要があった。</li> <li>・カルテの作成には、通常アクセスすることが困難と言われる米軍施設に関する情報等を収集する必要があった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したガイドラインについては、その内容を関係機関に周知するとともに、適正な運用を推進する必要がある。</li> <li>・ガイドラインの運用の推進のために、米軍基地環境問題及びそれに係る各種調査結果について、正しくかつわかりやすく県民に伝える必要がある。</li> <li>・作成したカルテについては、記載内容の更なる充実を図る必要がある。</li> </ul> |

| 今後の取り組み方針   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・米国立公文書館等、公的機関における在沖米軍基地に関する資料の収集を行うとともに、米軍基地内への返還前立入調査を行い、自然環境の現況を把握する。</li> <li>・基地環境問題等に関する情報を正しくかつわかりやすく伝える人材を育成するための研修会及び講演会を開催する。</li> </ul> |

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



| 資金の用途の点検・費目 | 評価 | 点検項目                           | 評価に関する説明   |
|-------------|----|--------------------------------|--|
|             | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○委託業者は、①及び②については、合理的かつ円滑な事業の進行のために平成27年度と同一の業者である必要があったため随意契約を行っている。③については、一般競争入札を実施した。④については事業の性質、専門性から随意契約とした。すべて適切であったと考えている。<br>○費目・額については、業務内容を踏まえ、額確定時において支出に関する資料により確認し、適正であったと考えている。 |
|             | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    |  |
|             | -  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              |  |
|             | ○  | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 |  |

平成28年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

|                        |   |  |               |      |                  |                                   |        |
|------------------------|---|--|---------------|------|------------------|-----------------------------------|--------|
| 事業番号・事業名               | 30 航空機騒音低周波音広域測定事業  | 沖縄21世紀ビジョン<br>基本計画該当箇所   | 第3章-2-(5)-ア   |      |                  |                                   |        |
| 担当部課名                  | 環境部 環境保全課   | 事業実施<br>(予定)年度   | 平成 27 ~ 29 年度 |      | 沖縄振興基本方針<br>該当箇所 | 米軍基地から派生する諸問題への対応<br><br>Ⅲ-10-(1) |        |
| 事業内容                   | 住みよい街づくり、県民の安全安心な生活の実現のために、米軍や国に対して米軍機への対策を求めるために必要な騒音の広域実態調査及び低周波音の自動測定の実証を行う。   |  |               |      |                  |                                   |        |
| 実施方法                   | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )  |  |               |      |                  |                                   |        |
| 予算額・執行額<br>【単位:千円】     |   | 26年度   | 26年度(繰越)      | 27年度 | 27年度(繰越)         | 28年度                              |        |
|                        | 予算<br>の<br>状<br>況   | (a) 当初予算額  | 0             | -    | 32,083           | -                                 | 13,250 |
|                        |   | (b) 予算現額   | 0             | -    | 32,083           | -                                 | 13,250 |
|                        |   | (c) 増減額 (b-a)  | 0             | -    | 0                | -                                 | 0      |
|                        |   | (d) 前年度繰越額   | -             | -    | -                | -                                 | -      |
|                        | A. 計 (b+d)  |  | 0             | -    | 32,083           | -                                 | 13,250 |
|                        | B. 執行済額   |  | 0             | -    | 31,744           | -                                 | 12,341 |
|                        | うち交付金充当額  |  | 0             | -    | 25,395           | -                                 | 9,873  |
|                        | C. 次年度繰越額   |  | 0             | -    | 0                | -                                 | 0      |
|                        | 執行率 (%) (B/A)   |  | -             | -    | 98.9%            | -                                 | 93.1%  |
| 予算の状況の説明               |   | ・執行率は93.1%であり、主として委託料の執行残が発生したことによる。   |               |      |                  |                                   |        |
| 活動目標<br>(指標)<br>及び達成状況 | H28活動目標(指標)   |  | 達成状況          |      |                  |                                   |        |
|                        |   |  | 25年度          | 26年度 | 27年度             | 28年度                              |        |
|                        | 普天間飛行場周辺に係る航空機騒音コンター図の作成  | 目標   |               |      |                  | コンター図を作成する                        |        |
|                        |   | 実績   |               |      |                  | コンター図を作成した                        |        |
|                        | 映像収録機能等の追加、周辺建物内での実態調査の実施   | 目標   |               |      |                  | 機能の追加及び調査を実施する                    |        |
|                        |   | 実績   |               |      |                  | 機能を追加し調査を実施した                     |        |
| 達成状況説明                 | ・平成27年度米軍基地航空機騒音実態調査で得られたデータ及び常時監視局のデータを用いてコンター図を作成した。<br>・普天間飛行場周辺に係る航空機騒音コンター図の作成については、活動目標及び成果目標どおりであったことから「達成」と評価する。<br>・平成27年度に低周波音自動測定機能を追加した航空機騒音測定局4局に、更に映像収録機能を追加した。<br>・普天間飛行場周辺の建物8棟において、スピーカーを用いて人工的に低周波音を発生させ、物的影響基礎調査を実施した。 |  |               |      |                  |                                   |        |
| 成果目標<br>(指標)<br>及び進捗状況 | H28成果目標(指標)   |  | 基準値           | 26年度 | 27年度             | 28年度                              | 目標値    |
|                        | 普天間飛行場周辺に係る米軍機騒音の面的実態把握   | 目標   |               |      |                  | 実態を把握する                           |        |
|                        |   | 実績   |               |      |                  | 実態を把握した                           |        |
|                        | 低周波音の自動測定の実証、映像収録機能等の追加及び周辺建物内での実態調査によるデータ蓄積・収集   | 目標   |               |      |                  | 機能の追加、データの蓄積・収集を行う                |        |
|                        |   | 実績   |               |      |                  | 機能の追加、データの蓄積・収集を行った               |        |
|                        | 進捗状況説明  | ・普天間飛行場周辺のコンター図を作成し、航空機騒音の面的分布を把握し、環境基準類型あてはめ指定地域の見直しを検討した。<br>・平成27年度に低周波音自動測定機能を追加した航空機騒音測定局4局に、更に映像収録機能を追加し、自動測定実証のための基礎構築を行う目標を達成した。<br>・普天間飛行場周辺の建物8棟において、スピーカーを用いて人工的に低周波音を発生させ、物的影響基礎調査を実施し、低周波による影響についての知見を蓄積した。 |               |      |                  |                                   |        |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)  | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)   |
|-------|--|--|
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>米軍基地周辺の航空機騒音については、米軍の運用状況により変化するため、今後の状況についても注視する必要がある。</li> <li>測定した低周波音について評価、判断の基準となる環境基準等が設定されておらず、航空機から発生する低周波音に関する知見が少ない。また、自動測定の手法について一般的に確立されていない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>米軍基地周辺の航空機騒音については、米軍の運用状況により変化するため、今後も米軍の運用状況を注視し、騒音が悪化する状況であれば、広域的騒音実態調査の実施と環境基準類型あてはめ地域の見直しを検討する必要がある。</li> <li>低周波音自動測定の手法について確立されていないことから、データを蓄積するとともに、精査を行い、自動測定による手法を実証する必要がある。</li> <li>国に対して基準策定を要望しつつ、評価基準となりうる他国の騒音・低周波音に関するガイドライン等の動向について情報収集を行っていく必要がある。</li> </ul> |

**今後の取り組み方針**

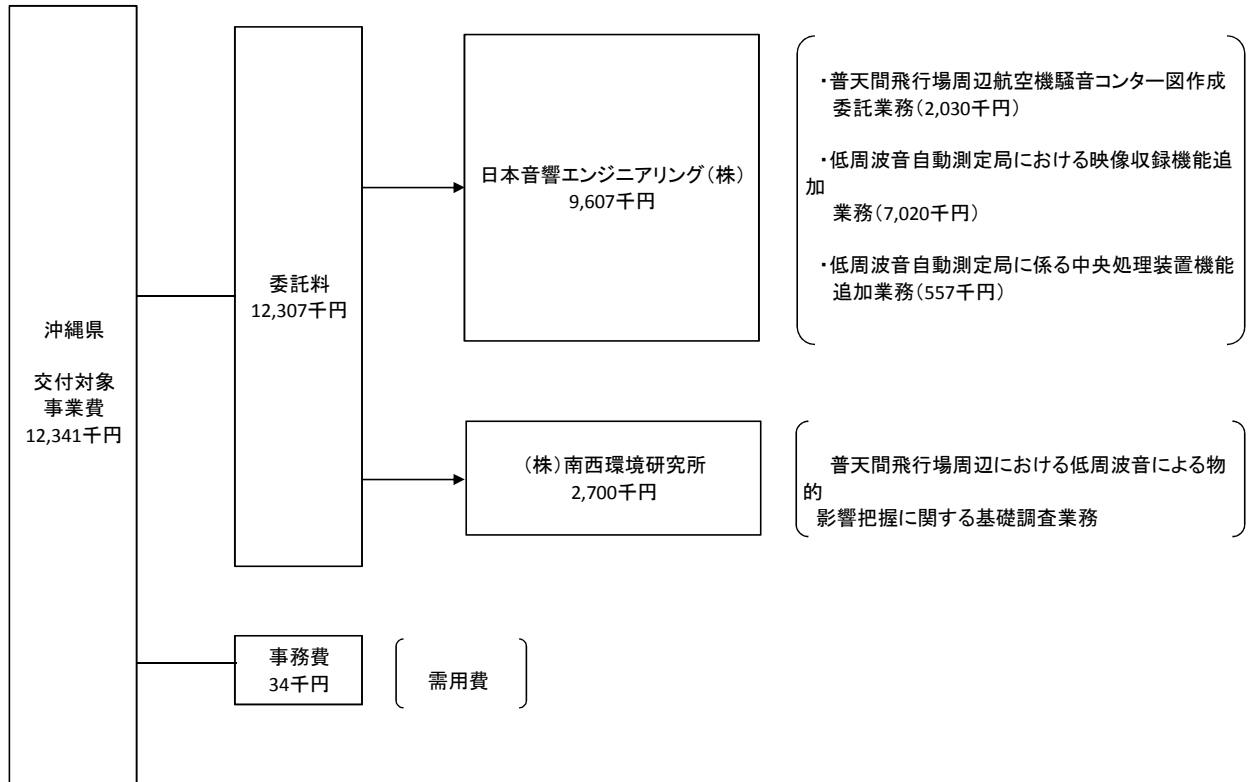
平成29年度は、以下の調査を実施し、低周波音による物的影響に関するデータの蓄積・収集を行う。

(1)平成28年度と同様、一般家屋8棟を選定し、スピーカーを用いて低周波音を人工的に発生させ、建物への物的影響基礎調査を実施する。

(2)普天間飛行場周辺において、米軍機より発生する低周波音の建物への物的影響実態調査を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費   | 交付対象事業費 | うち交付金充当額 | うち県負担金 | うち市町村負担金 | その他 | 交付対象外経費 |
|--------|---------|----------|--------|----------|-----|---------|
| 12,341 | 12,341  | 9,873    | 2,468  | 0        | 0   | 0       |



| 資金の流<br>れ、<br>評価<br>目 | 評価 | 点検項目                           | 評価に関する説明  |
|-----------------------|----|--------------------------------|---|
|                       | ○  | 支出先の選定方法は妥当か。                  | ○委託事業者は、低周波音自動測定局への機能追加については、同製品の特許を有し、かつ唯一の製造業者である一社と随意契約を行い、それ以外は、一般競争入札により選定した事業者と契約を行った。<br><br>○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なものが等について額の確定時に支出調書等により確認を行い適正である。 |
|                       | ○  | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。    |   |
|                       | —  | 受益者との負担関係は妥当であるか。              |   |
|                       | ○  | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 |   |